

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

帯広大谷短期大学では、建学の精神並びに教育理念に基づいた人間を育成する教育環境を提供するために、以下のように教育課程を編成しています。

1. 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために「教養科目」を配置します。また、学生が、専門的な知識と技能を体系的に学び、高度で多様な専門性を身につける「専門科目」を配置し、適切に選択・受講ができることを目指します。
2. 学生が幅広い視野に立ち、現代社会を捉え直すことができる知識と理論を提供する「講義科目」と学生が主体的に学ぶ能力を身につけることで学びを深め、それらを総合的に実践する「演習科目」と「実習科目」の3つを効果的に配置し、本学の目指す人間教育を展開します。

<地域共生学科キャリアデザインコース>

キャリアデザインコースでは、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、教養のある知的な人を養成するため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成する。

- (1) 学生が、豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 地域を教材に多様な教養を身につけること、また、学習並びにコミュニケーションのリテラシーを身につけるために基礎教養科目を設置する。
- (3) 地域の行政や産業、社会の協働の仕組みを知り、かつ幅広い教養と情報処理の技術やビジネススキルを身につけるために専門教育科目を設置する。
- (4) 社会教育主事、図書館司書に必要な専門知識を深く身につけるとともに社会での実践力を身につけるために資格関連科目を設置する。

<地域共生学科食と栄養コース>

食と栄養コースでは、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、食物、栄養、健康に関する知識や技術を身につけた実践力のある人を養成するため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成する。

- (1) 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 社会や環境と健康との関係を理解するとともに、保健・医療・福祉システムの概要について修得するために、社会生活と健康に関する科目を設置する。
- (3) 人体の仕組みについて構造や機能を理解し、食事、運動、休養などの基本的生活活動や環境変化に対する人体の適応について修得するために、人体の構造と機能に関する科目を設置する。
- (4) 食品の各種成分の栄養特性について理解するとともに、食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について修得するために、食品と衛生に関する科目を設置する。
- (5) 栄養とは何か、その意義と栄養素の代謝及び生理的意義を理解するとともに、性、年齢、生活・健康状態等における栄養生理的特徴及び各種疾患における基本的な食事療法について修得するために、栄養と健康に関する科目を設置する。

(6) 個人、集団及び地域レベルでの栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について理解し、また基本的な栄養指導の方法について修得するために、栄養の指導に関する科目を設置する。

(7) 給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供に関する技術を修得するために、給食の運営に関する科目を設置する。

(8) 意欲のある学生の満足度を高め、質の高い栄養士を養成するために関連科目を設置する。

＜社会福祉科子ども福祉専攻＞

社会福祉科子ども福祉専攻では、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、子どもの福祉と幼児教育に貢献できる社会人としての基礎的な能力を身につけるため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 児童家庭福祉・保育・幼児教育に関する基本的な理論や知識の習得のために、教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、保育の本質・目的に関する科目を設置する。
- (3) 子どもの心身の健康な発達に関する理論や知識とそれに基づく教育や援助の方法を学ぶために、教育の基礎理論に関する科目、保育の対象理解に関する科目を設置する。
- (4) 保育内容とその指導法についての知識の習得と活動の計画に関して学ぶために、教育課程および指導法に関する科目、保育の内容・方法に関する科目を設置する。
- (5) 保育の表現の技術の習得のために、教科に関する科目、保育の表現技術の科目を設置する。
- (6) 以上のカリキュラムで培われる知識、技能等の児童家庭福祉・保育・幼児教育の現場における主体的・実践的な展開の経験と、協調性と共同体への貢献の姿勢の涵養のために、特別演習、教育実習科目、保育実習科目および教職実践演習（総合演習）の科目を設置する。

＜社会福祉科介護福祉専攻＞

社会福祉科介護福祉専攻では、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、福祉的支援を必要とする人々や地域への根拠に基づいた支援方法を身に付けるため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 介護実践の基盤となる教養や倫理的態度の涵養のため、専門教育科目に領域「人間と社会」を設置する。
- (3) 福祉的支援の対象者の尊厳の保持や自立支援の考え方を踏まえ生活を支える知識・技術の修得のため、専門教育科目に領域「介護」を設置する。
- (4) 多職種協働や適切な介護の提供のため、専門教育科目に領域「こころとからだのしくみ」を設置する。
- (5) 医療職との連携のもと、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術の修得のため、専門科目に領域「医療的ケア」を設置する。
- (6) 幅広く生活支援を理解するため、地域連携や社会福祉研究関連の科目群として介護福祉関連科目を設置する。

<看護学科>

- (1) 学生が、建学の精神（親鸞聖人の教え）を学ぶことにより豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や判断力、表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 多様な暮らしを営む人々の視点に立って考え判断する能力を育成するために、看護のすべての場面に倫理的問いがあることを繰り返し学習する授業デザインとする。
- (3) 科学的根拠および経験学習に基づき、主体的に学習するシチュエーション・ベースド・ラーニングを取り入れたシミュレーション教育を推進する。
- (4) 模擬患者との演習を通して、看護援助場面におけるコミュニケーション能力を育み、学修した知識を応用する演習環境を整備する。
- (5) 保健医療介護福祉組織の一員としての役割・責務を果たすために必要なマネジメントを学修する実習環境を整備する。
- (6) 国際的な視野を持ち、国や民族・性別の枠を超えて多様な文化における健康課題を学ぶ教材を提供する。